

日本鐵鋼協會記事

◎編輯會

大正七年一月八日(火曜日)午後五時より本會假事務所に於て編輯委員會を開き會誌第四年第一號の原稿を選定せり。

當日出席者は

野呂景義 香村小録 井上克己 川上義弘 關口八重吉
室井嘉治馬の諸氏なり。

◎本會事務所建築工事

豫て工事中の本會事務所建築工事は着々進捗し來る二月末日を以て竣工の筈なるを以て三月末に開く可き總會に於て其經過と現状とを會員各位に報告する事を得べし。

◎農商務省諮門の工業用材料

其他統一に關する回答

本件に關しては左記工學會主催の準備委員會決定の通り昨年十二月二十四日付を以て不敢取同省へ回答をなしたる。

エンジニアリング、スタンダート

外二件に關する準備委員會協議錄

大正六年十二月十三日帝國鐵道協會に於て、エンジニアリング、スタンダート外二件に關し各學會聯合準備委員會を開く出席者十四名、聽て工學會々長古市公威君座長として開會の挨拶と共に今回農商務省商工局長より照會に係る工業用材料並に機械類の形狀寸法統一其他の件は既に諸君に於て御承知ならんが此問題は本會合の趣旨と性質同様なれば合せて本席に於て御協議する事に致したしと宜べ質問討論の結果其意見の要領を掲ぐれば左の如し。

出席名

野村 龍太郎君	古川 阪次郎君	野呂 景義君
阪田 貞一君	中原 岩三郎君	近藤 茂君
田中 富士太君	利根川 守三郎君	鴨 居 武君
渡 邊 渡君	今岡 純一郎君	加茂 正雄君
玉木 辨太郎君		

意見の要領

一農商務省照會の件に對し。

野村龍太郎君野呂景義君其他の委員意見を述べ加茂正雄君より農商務省照會の内容の説明あり左の諸説出たり

(一)本件は各學會聯合協議會に附して決定すべし。

(二)各學會に於て意見を纏めたる上各學會聯合協議會を

開き決定すへし。

(三)本問題は各學會の調査を俟たず本席に於て回答案を作成決定すへし。

(四)農商務省照會の趣旨は最も時機に適したるものなるも其實行の順序方法其他は今急速に決定すること能はす幸ひ目下工學會主催として各學會聯合の下に「エンジニアリング、スタンダード」外二件に關する問題調査の爲に相當機關を組織しつつあれば該會に於て審議決定の上回答する事とし先づ以て非公式に農商務省へは本月未迄に回答不能の旨を通知すへし。

(五)右趣意を書面に悉し正式に回答すへし。

審議の末第四、五項に賛成

古市座長然らば右趣旨に基き工學會に於て回答案を作成し各委員へ送付すへきに付御意見御申越を乞ふ其上各學會別々に成るべく同主意を以て農商務省へ回答を爲すことに致したし。

右之通り決定

「エンジニアリング、スタンダード」外二件に關する件

(一)本問題は各學會聯合調査の爲め實行委員として各學會より各問題一人の割を以て三人つゝ選出し(但兼務差支なし)三問題同時に着手することとし其委員は大正七年一月二十日迄に工學會に通知すること。

(二)經費は實行委員に於て協議すること。

右之通り協定す。

農商務省へ回答案

拜啓大正六年十一月二十二日附産三第三四號を以て工業材料並に機械類の形狀寸法統一其他に關する件に就き御照會之趣了承仕候本問題は國家之工業發達の基礎を確立する上に於て最も重要なることは今更申迄も無之從つて其の緩急輕重の程度及實行方法等に就ては慎重研究を要し居處幸ひ目下工學會主催として各專門學會聯合の下にエンジニアリング、スタンダード外二件に關し一の調査機關を設くること決定し着々進捗中に有之候間該機關成立の上篤と審議を盡し意見開申仕度候間此段不敢取及御回答候也

年 月 日

學 會 長 名

農商務省商工局長宛

◎入退會者

前號報告後入退會を承認せられたる會員左の如し

入 會 者(住所及職業)

大連市若狹町二區五三	三井物産株式會社大連支店	正會員	堀部 次郎
東京市牛込區山伏町四一	陸軍中將工學博士	同	武田 三郎
東京府荏原郡大崎町字上大崎四四四	日本精工株式會社事務取締役	同	廣木 八郎
福岡縣小倉市杵斐町		小林組 同	小林 徳一郎
廣島縣佐伯郡小方村大倉製鐵部	山陽製鐵所員	准會員	長澤 四郎

東京府南葛飾郡大島町丁目 日本鑄鋼所東京工場所員 准會員 前田 勝治
 鳥取縣倉吉町山陽製鐵所 同 渡邊 貞吉
 南滿洲鐵道株式會社沙河工口工場 同社員 同 高橋 虎雄
 大阪府西區南恩賀島町 大阪製鐵株式會社社員 同 井上 好一
 大阪製鐵株式會社 同 井福 武夫
 福岡縣大牟田市 同機械製圖係 同 古林 政一
 三井三池炭礦事務所 同 鳥居 武
 同 同 甲 藤 新
 東京市本郷區西片 東京工科大学冶金科學生 同 檜前 哲象
 町一〇ノ一六號 同 神戶製鋼所所員 同 町永 三郎
 神戶市臨ノ濱一丁目神戶製鋼所 同 同 阿久津 國造
 同 同 神戶製鋼所技師 同 矢野 矢
 同 同 同 同 酒井 溫
 神戶市葦合町二一五ノ八 同 同 南滿洲工業學校 同 石山市太郎
 大連市伏見塞滿鐵社宅 同 日本製鋼所所員 同 結城 竹治
 北海道室蘭日本製鋼所 同 同所員 同 秋友 毅一郎
 大阪府西區千島町 株式會社日本鑄鋼所大阪工場 同 同 樺久 之助
 鳥取縣西伯郡米子町西町株式會社米子製鋼所 同 同 中島 岩吉
 福岡縣八幡市製鐵所 製鐵所技手 同 後藤 敬義
 大阪府西區南恩賀島町 伊藤友助方 大阪製鐵株式會社社員 同

名古屋市熱田兵器製造所內
 兵庫縣武庫郡精道村ノ内東片字松ノ内壹貳四〇番地ノ一
 東京市麴町區錢瓶町梁瀬商會工務部

小島 定夫
 小田切 延壽
 尾花 信

轉居 (新住所左の如し)

德島縣麻植郡西尾村大字飯尾七〇九
 長崎市三菱長崎造船所
 京都市岡崎町字黒谷北門前
 東京府荏原郡大崎町居木橋園池製作所
 岩手縣釜石町釜石鑛山株式會社
 東京市赤坂區青山高樹町十二番地一號
 大阪府西成郡千船村大字蒲島椿ヶ岡四十三番地ノ十八
 東京府荏原郡大森町字不入斗壹壹二壹

黒部 義夫
 大串 爲太郎
 山田 賀一
 原田 正一
 伊香賀 照治
 室井 嘉治馬
 木下 亮吉
 相原 鉄次郎